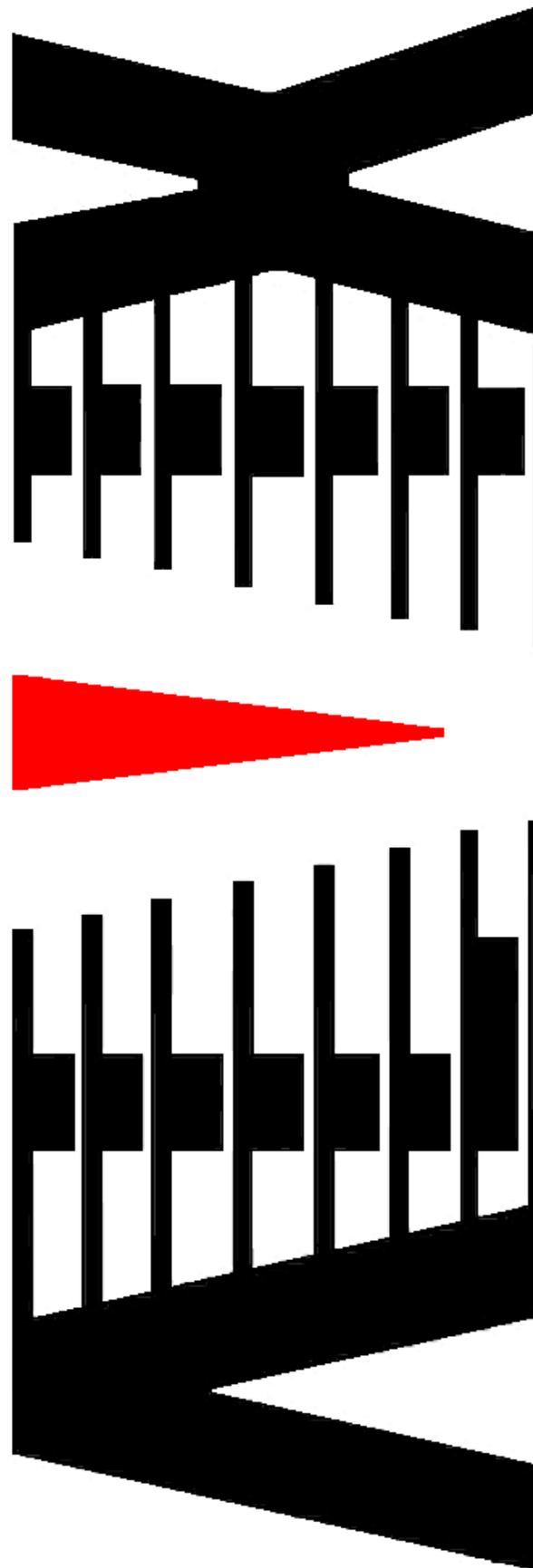


“アルビクス” 映像・音声エラー検出装置
VAD-816

取扱説明書

V02



御使用前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、安全の為に指示に従って下さい。

もし、不明点があれば販売店か弊社におたずね下さい。

目次

御使用上の注意事項	2
1. 主な機能と特徴	3
2. 仕様.....	4
3. 各部の名称と機能.....	6
3. 1 フロントパネル.....	6
3. 2 リアパネル	7
3. 3. 接続方法	8
4. ネットワーク設定.....	9
4. 1 IPアドレスの設定	9
4. 2 NTPサーバの設定.....	11
4. 3 Trap先IPアドレス設定.....	12
5. STB 設定モード	13
6. IPアドレス確認方法.....	14

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

警告

- ◇ 内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としてはいけません。
（火災や感電、故障の原因となります。）
- ◇ 煙が出たり、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

注意

- ◇ 電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。
（感電やショート、火災の原因となります。）
- ◇ 電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。
（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）
- ◇ 電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。
（感電やショート、火災の原因となります。）
- ◇ 仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。
（火災や感電の原因となります。）

お願い

- ◇ 風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。
（故障の原因となります。）
- ◇ 次の様な所には置かないで下さい。
湿気が多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く
埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所、安定しない台の上、傾いた所
（故障の原因となります。）

1. 主な機能と特徴

- ◇映像・音声のエラーが指定された時間以上連続した場合、その状態をLAN インタフェース（RJ-45）にてパソコン等へ通知します。
- ◇1台で16系統の映像・音声信号（L，R）のエラーを監視可能です。
- ◇4台のSTBを赤外線リモコンで制御、チャンネル切り替えを行い、巡回監視します。

2. 仕様

- ◆映像入力信号
 - 入力信号数 : 4系統
 - 信号形式 : NTSC、アナログVBS
 - 接栓 : BNCコネクタ

- ◆モニタアウト
 - 出力信号数 : 1系統
 - 信号形式 : NTSC、アナログVBS
 - 接栓 : BNCコネクタ

- ◆音声入力信号
 - 入力信号数 : 4系統
 - 信号形式 : アンバランスステレオL, R
 - 接栓 : RCAコネクタ

- ◆赤外線リモコン出力
 - 制御系統 : 4系統
 - 接栓 : RCAコネクタ

- ◆外部通知
 - 通信仕様 : 100BASE-TX/10BASE-T 対応 LAN インタフェース
 - プロトコル : SNMP
 - コネクタ : RJ-45モジュラ

◆STBエラー検知項目

- STB異常（同期断エラー）
映像信号の入力が無い状態が発生した場合にエラーを通知します。

◆チャンネルエラー検知項目

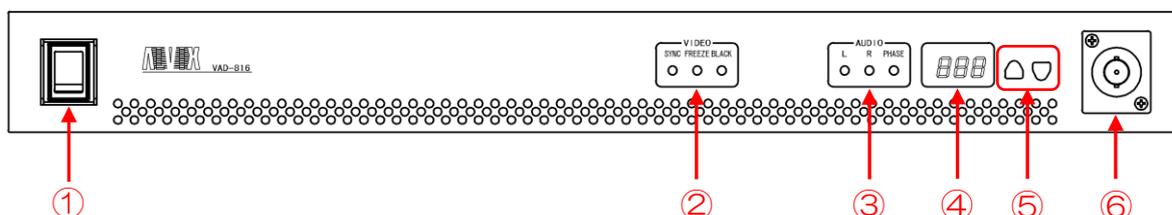
各エラー項目は、エラー状態を通知するまでのマスク時間※を指定することが可能です。 ※60秒以上

- ブルーエラー
映像がブルーの状態が指定秒数以上連続した場合にエラーを通知します。
- ブラックアウトエラー
映像がブラックアウトした状態が指定秒数以上連続した場合にエラーを通知します。
- フリーズエラー
映像がフリーズした状態が指定秒数以上連続した場合にエラーを通知します。
- 音声レベルエラー
オーディオ信号のピーク値を測定し、レベル異常の状態が設定された時間以上連続した場合にエラーを通知します。
- 無音エラー
オーディオ信号のピーク値を測定し、 -60 dB 以下の状態が設定された時間以上連続した場合にエラーを通知します。
- 逆相エラー
オーディオ信号の逆相状態が設定された時間以上連続した場合にエラーを通知します。
- 1 KHz 検知
オーディオ信号が1 KHzの状態が設定された時間以上連続した場合にエラーを通知します。
- フリーズ and 無音エラー
映像がフリーズ且つオーディオが無音の状態が設定された時間以上連続した場合にエラーを通知します。
- チャンネル切り替えエラー
STBのチャンネル切り替えが失敗した場合にエラーを通知します。

- ◆外形寸法 : W430 × H440 × D300 mm
- ◆重量 : 約 3 kg
- ◆電源電圧 : 100V \pm 10% AC 50/60Hz
- ◆消費電力 : 約 10W
- ◆使用温度 : 5 $^{\circ}$ C ~ 40 $^{\circ}$ C

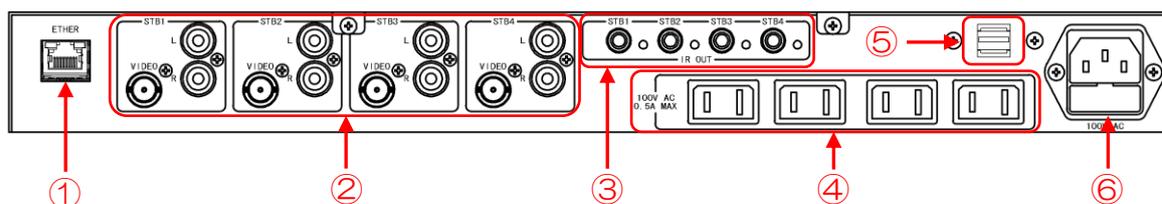
3. 各部の名称と機能

3. 1 フロントパネル



- ① 電源スイッチ
本機器の電源ON/OFFを行います。
- ② VIDEOステータス表示
VIDEOステータスのエラー状態をLEDで表示します。
- ・SYNC
同期断が発生した場合、点灯します。
 - ・FREEZE
フリーズが発生した場合、点灯します。
 - ・BLACK
ブラックが発生した場合、点灯します。
- ③ AUDIOステータス表示
AUDIOステータスのエラー状態をLEDで表示します。
- ・L
オーディオLの無音が発生した場合、点灯します。
 - ・R
オーディオRの無音が発生した場合、点灯します。
 - ・PHASE
逆相が発生した場合、点灯します。
- ④ モニタ出力チャンネル表示
・モニタに出力されるチャンネル番号を表示されます。
・電源投入時には本体のIPアドレスが表示されます。
- ⑤ モニタ出力選択ボタン
・モニタに出力するSTBを選択します。
「 0」: STB1～STB4を巡回しながらモニタに出力する。
「 1」: STB1をモニタに出力する。
「 2」: STB2をモニタに出力する。
「 3」: STB3をモニタに出力する。
「 4」: STB4をモニタに出力する。
- ・モニタ出力選択ボタン2つを押しながら電源を投入するとSTB設定モードになります。
- ⑥ モニタ出力
各チャンネルの映像信号が巡回しながら出力されます。

3. 2 リアパネル



① ETHER

LANインターフェイスコネクタです。

② STB 入力信号

- VIDEO：映像コネクタ
アナログVBS信号を入力します。
- L：Lチャンネル音声コネクタ
オーディオ信号のLチャンネル（主音）を入力します。
- R：Rチャンネル音声コネクタ
オーディオ信号のRチャンネル（副音）を入力します。

③ IRアダプター接続用コネクタ

赤外線リモコン信号を出力します。

④ STB用AC出力

STB電源用のAC 100Vです。

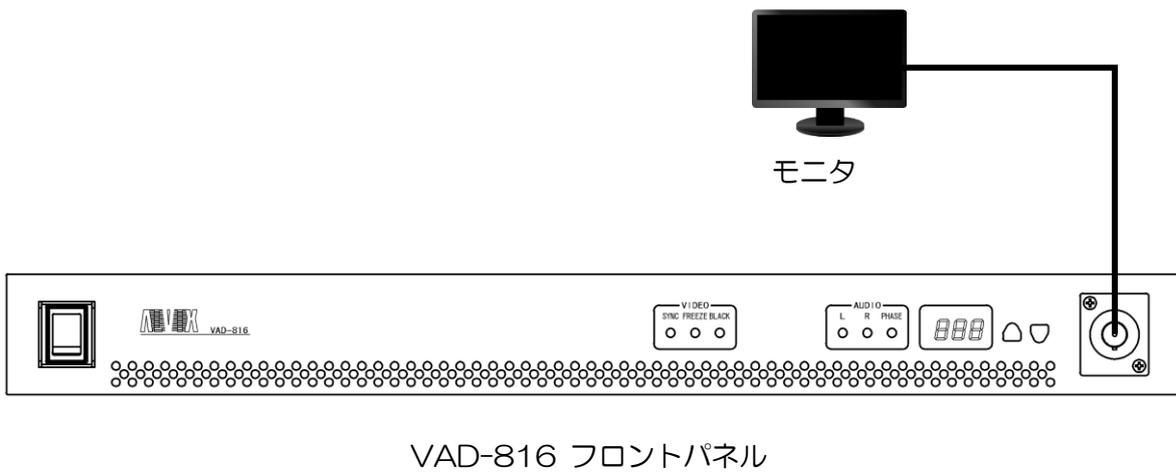
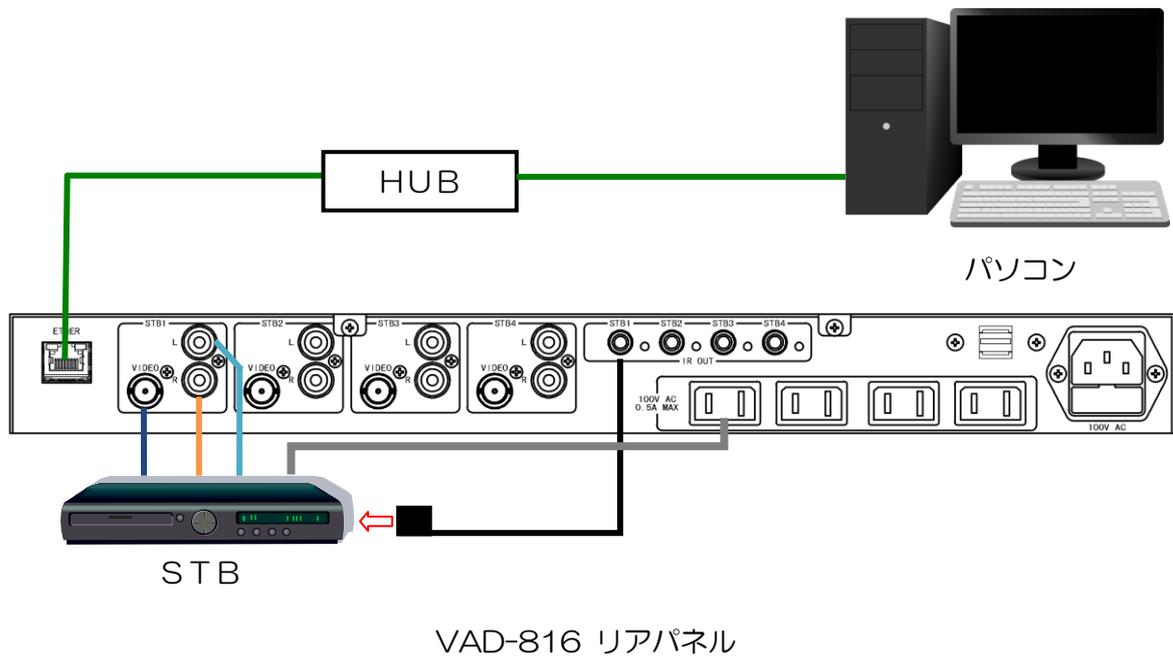
⑤ USB電源

DC5V電源です。

⑥ AC入力

AC入力（3Pインレット）です。

3. 3 接続方法



4. ネットワーク設定

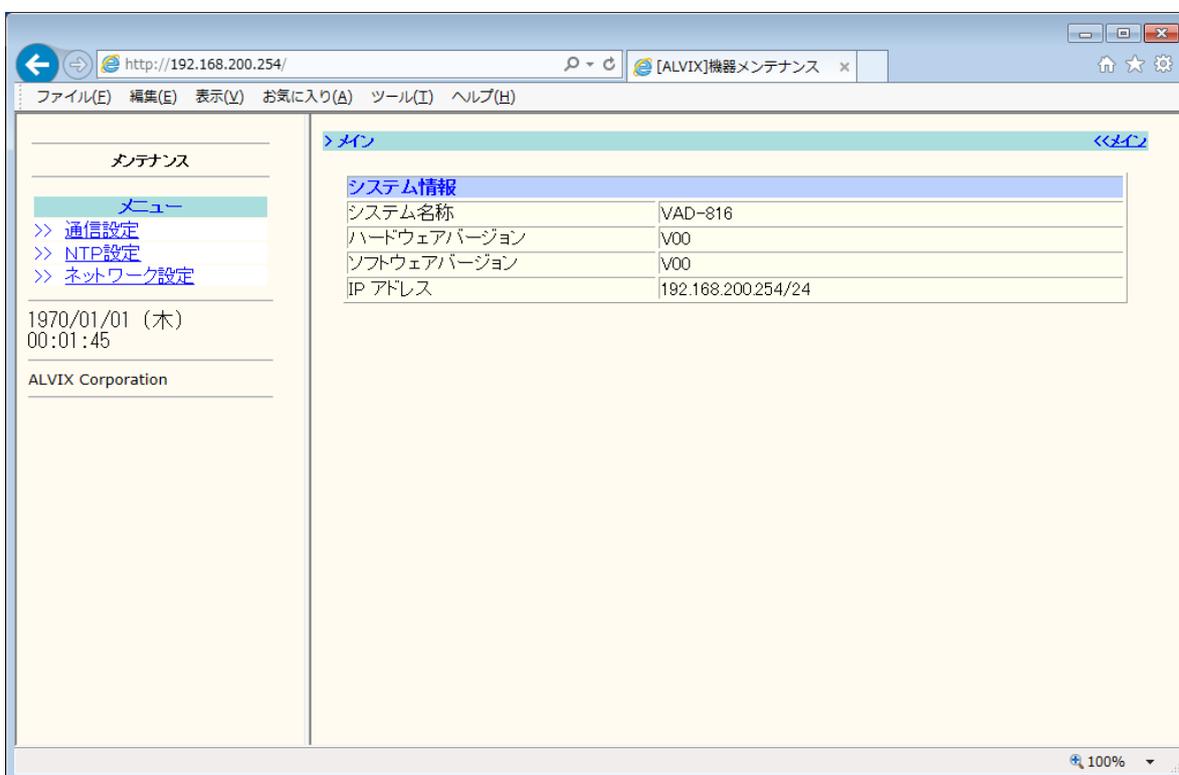
4. 1 IPアドレスの設定

- 1) VAD-816の電源を投入した状態で、ETHER (SNMP) コネクタと Windows PC を LAN 経由で接続します。(クロスケーブル直結または HUB 経由)

※ソフトの起動前に Windows ファイヤーウォールを無効に設定して下さい。

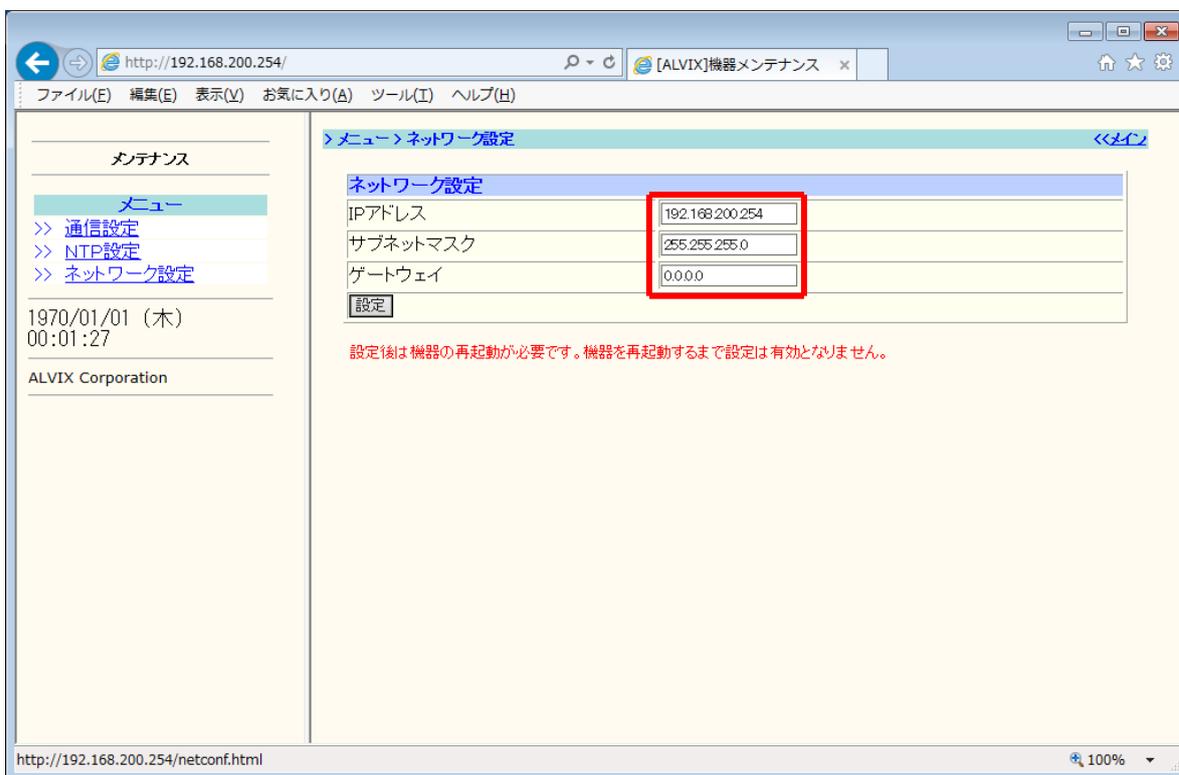
※Internet Explorer 10 以上を使用される場合は、互換表示設定に VAD 本体の IP アドレス追加してください。

- 2) Windows PC 上で Internet Explorer を起動し、VAD 本体の IP アドレス (http://aaa.bbb.ccc.ddd/) を入力すると下記画面が表示されます。



(実際の製品の IP アドレスは上記とは異なります)

- 3) ブラウザ画面左側の「ネットワーク設定」をクリックすると下記画面が表示されるので、ネットワーク設定で必要な項目を変更して「設定」ボタンをクリックします。
設定後はVADの電源を再投入します。

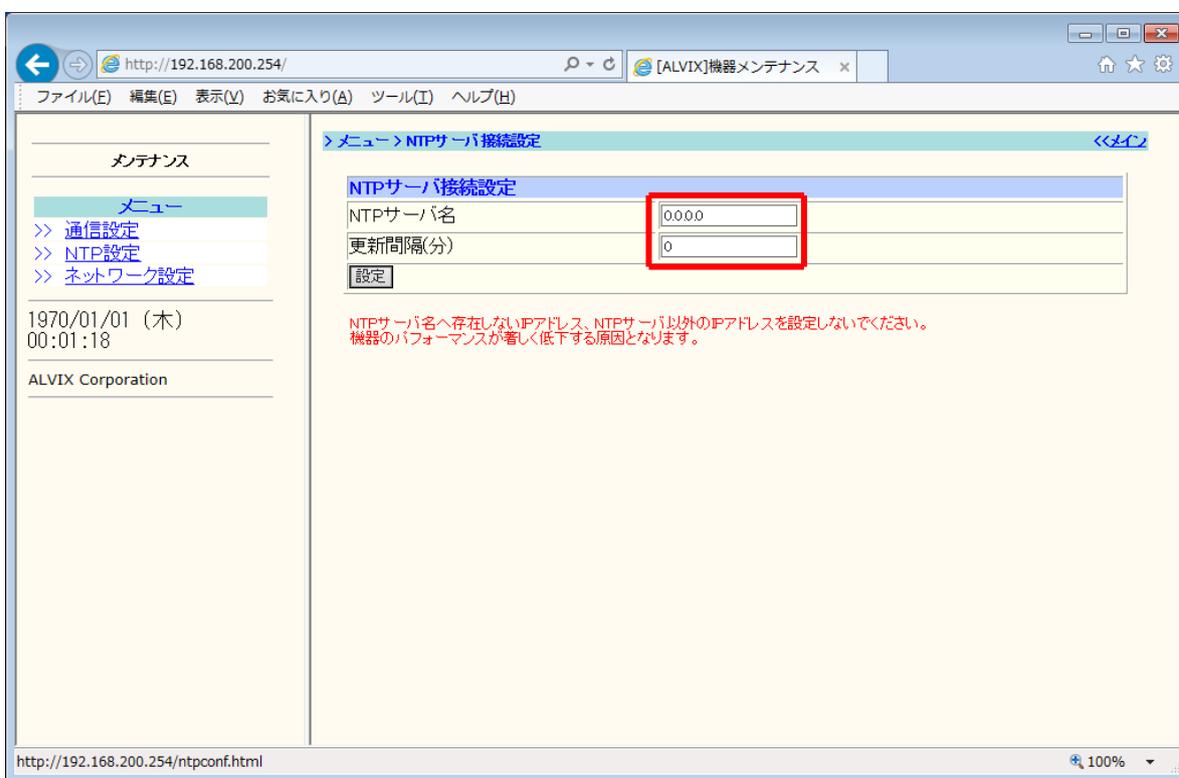


(実際の製品の IP アドレスは上記とは異なります)

4. 2 NTPサーバの設定

- 1) 前項と同様の手順で「NTP設定」をクリックすると下記画面が表示されるので、NTPサーバ名の欄を変更して「設定」ボタンをクリックします。
(「0. 0. 0. 0」に設定するとNTPサーバは設定されません)
また、時刻更新間隔を分単位で設定する事が可能です
(最大 1440 分。0 に設定した場合は時刻更新を行いません)

※NTPサーバIPアドレスに、ネットワーク上に存在しないアドレスやNTPサーバが動作していないPCのアドレスは設定しないで下さい。
VADの通信パフォーマンスが著しく低下する原因となります。



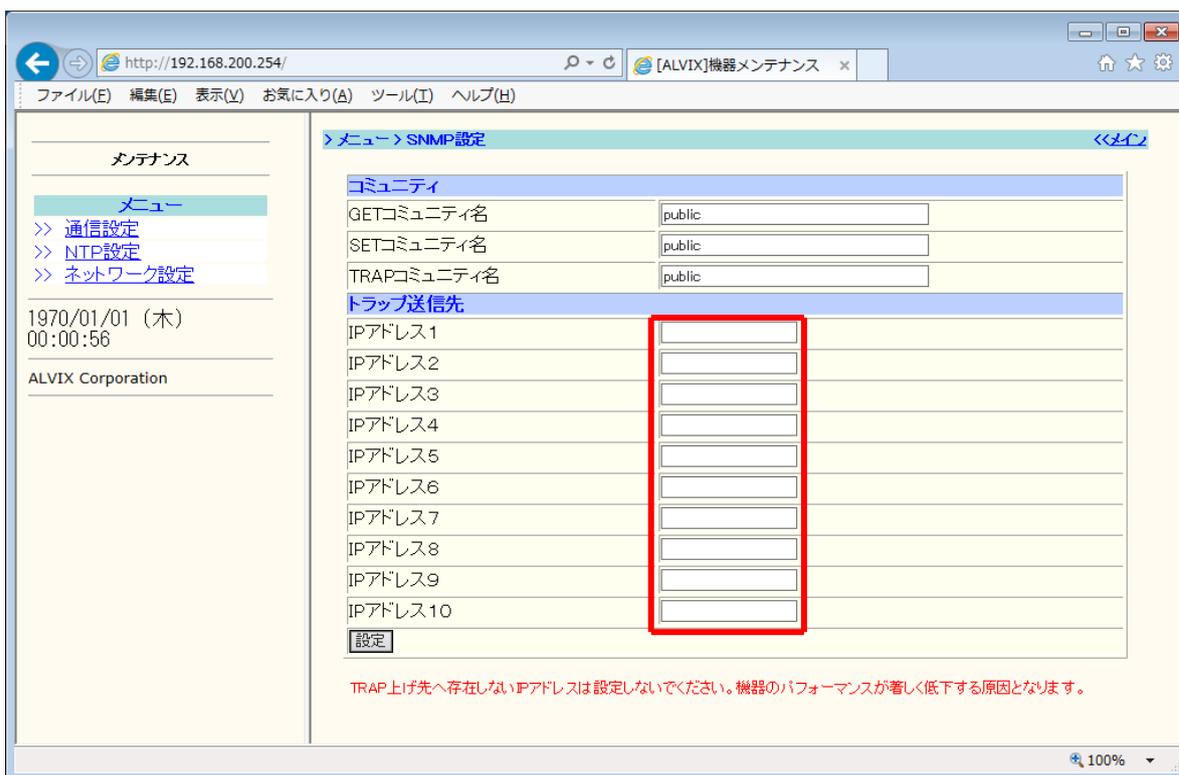
4.3 Trap先IPアドレス設定

1) 前項と同様の手順で「通信設定」をクリックすると下記画面が

表示されるので、Trap先IPアドレスを設定して「設定」ボタンをクリックします。

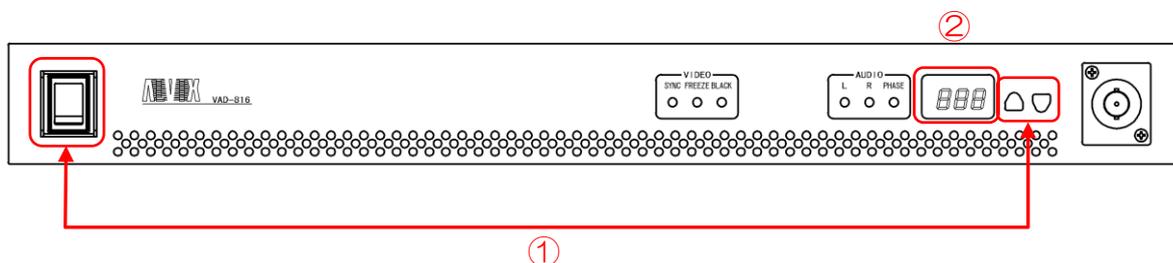
(Trap先IPアドレスは最大10箇所まで設定可能です)

※Trap先IPアドレスに、ネットワーク上に存在しないアドレスは設定しないで下さい。
VADの通信パフォーマンスが著しく低下する原因となります。



5. STB設定モード

STB 設定モードでは、STB1～4に入力されている信号をモニタ出力に出力します。
モニタ出力選択ボタンにてモニタ出力に出力する信号を選択することができます。

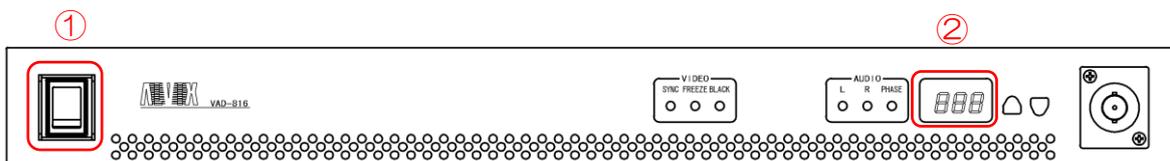


◆ STB 設定モード設定手順

- 1) モニタ出力選択ボタン2つを押しながら電源を投入します。
(20秒ほどボタンを押し続けてください。)
- 2) STB 設定モードに変わると、モニタ出力チャンネル表示が「000」から
「 1」(STB1)に変わります。
- 3) モニタ出力選択ボタンでモニタ出力に出力する信号を選択します。
 - 「 1」: STB1をモニタに出力する。
 - 「 2」: STB2をモニタに出力する。
 - 「 3」: STB3をモニタに出力する。
 - 「 4」: STB4をモニタに出力する。

6. IPアドレス確認方法

IPアドレスは電源投入時にモニタ出力チャンネル表示で確認することができます。



◆ IP アドレス確認手順

- 1) 本体の電源を投入します。
- 2) 本体が起動しモニタ出力チャンネル表示が「000」と表示されます。
- 3) VIDEOステータス、AUDIOステータスのLEDが点灯し、モニタ出力チャンネル表示にIPアドレスが表示されます。

例) IPアドレス 192.168.200.200 の場合

- 「192」: 第1オクテットを表示 (約1.5秒)
 - 「160」: 第2オクテットを表示 (約1.5秒)
 - 「200」: 第3オクテットを表示 (約1.5秒)
 - 「200」: 第4オクテットを表示 (約1.5秒)
- ※IPアドレスは2回繰り返し表示されます。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

TEL
担当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214

新潟県燕市吉田法花堂1974-1

TEL : 0256-93-5035

FAX : 0256-93-5038